

自己類似顔を用いた行動学習支援システムの検証

情20-0065 太田 帆風
指導教員 米澤 朋子

1. はじめに

アルバイトの研修の際などにおいてお手本となる行動を提示される時、接客の良い例などを動画で見ることがあるが、その動画でお手本となる行動を取る人は基本的に他者である。そのお手本となる行動を取る人が研修を受けている本人である場合、どうなるのか。お手本行動を取る他者を見るよりもお手本行動をとる自分を見た方が学習しやすいのかどうか。

本研究では行動を学習する場面においてお手本となる行動を取る人間が他者顔ではなく自己類似顔であった場合、学習効果や感情にどのような影響があるのかを調べ、より学習効果が高いシステムを作ることを目指している。

2. 提案システム

本システムの実行環境のハードウェア構成はパーソナルコンピュータ1台である。ソフトウェア開発では類似度や表情を変化させた顔画像作成にはStyleGAN、顔画像と動画の合成にはFirst Order Motion Model (FOMM) を使用し

3. 検証

4. おわりに

